

共生・協働の地域社会づくり

南種子町 NPO法人

◎NPOふりいじあ

《問い合わせ》 ☎0997(26)70005

廃校校舎を活用した介護施設で、安心して暮らせるまちづくり

熊毛郡南種子町平山に、廃校となった中学校の校舎を利用した介護施設がある。広々とした敷地の中に、昔懐かしい学校の雰囲気を残し、介護施設の機能を備えた癒しの空間だ。明るく、ゆったりとした居室、全介助でも入浴可能な特浴設備、語らいながら食事を楽しむ食堂。そして何より地域の中心にあり、広い校庭にはいつも高齢者のゲートボールを楽しむ声が聞こえている。



▲校庭では、ゲートボールや運動会など地域の活動が盛んです。

この施設を運営しているのが、NPO法人「NPOふりいじあ」だ。老人医療に携

わる中で、「自宅で生活したい」という多くの声を聞き、その声にこたえるため、平成17年4月にNPO法人を立ち上げ訪問介護事業を開始した。集落を回る中で、ショートステイができる施設の必要性を強く感じるようになったが、施設そのものから準備するには資金不足であり困難な状況にあった。

南種子町では、援助や見守りを必要とする高齢者は年々増加しているが、福祉施設は少なく、施設増や在宅介護のサービス充実などが大きな課題であった。一方、地域には廃校校舎があったが、国の補助事業でつくられたもので、利用が制限されていた。そこで、町が地域再生法を活用して、廃校校舎などを福祉施設として利用できるようにし、NPOふりいじあに無償貸与することとした。NPOふりいじあは介護施設として利用できるようバリアフリー化や外装の塗装を自ら行い、平成



▲昔の中学校の雰囲気が残る施設内。段差をなくすため80m余りの廊下をかさ上げしました。

加し、必要な時にいつでも利用できるとして評価も高い。施設では、職員も含め常時30人程度がおり、常に灯りがともっているため、地域全体の雰囲気も明るくなったと地域住民からの評判も良い。

「高齢者福祉の質の向上に向けて今後とも努力していきたい」と立石事務局長。NPOと町が連携した地域福祉の拠点となる施設整備や新たな福祉事業の展開により雇用が生み出されるなど地域活性化のシンボルとなるものもあり、「NPOふりいじあ」の今後の活動が期待される。

18年7月にショートステイ事業をスタートさせることができた。

現在、利用者は着実に増

▼活動のようす



立石事務局長

介護保険制度を活用しながら、家族に大きな負担がかからない介護の仕方をみんなで考えることが大事ですね。

共生・協働の地域社会づくりやNPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進室（県庁市町村課内） ☎099-286-2241

◎共生・協働センター（かごしま県民交流センター内） ☎099-221-6605

関連情報は、県ホームページの「共生・協働（NPO・ボランティア）」にも掲載しています。